

STOP 電気火災

電気火災は、電化製品を正しく使うことや

故障や不具合を早めに発見することで防ぐことができます。

電気火災を防ぐポイントをチェックしてみましょう。

【トラッキング】

コンセントに挿すプラグの周りにほこりが付着していると、湿気を帯びたほこりが電気回路を形成し、放電を繰り返すことで火花が発生し、火災の原因になります。

- ☐ コンセント周りは定期的に点検・清掃する。
- ☐ 使用しない電源プラグは抜いておく。
- ☐ 家具類や大型家電製品の裏など、見えにくい場所のコンセントには特に注意する。

【金属の接続部が過熱する】

電源プラグがコンセントにしっかり挿しこまれていなかったり、変形していたりすると、過熱して火災の原因になります。

- ☐ 電源プラグはコンセントにしっかり挿し込む。
- ☐ 電源プラグ・コンセントは変形等がないか定期的に点検する。

【電気コードが短絡(ショート)・半断線する】

電気コードが家具等の下敷きになっている、束ねて・折り曲がったまま使用されていると、電気コードの被服の損傷や温度上昇その他経年劣化による短絡(ショート)、半断線による発熱を引き起こし、火災の原因になります。

- ☐ 家具等の下敷きにしない。
- ☐ 束ねて使用しない。
- ☐ 折れ曲がりがないように伸ばして使う。
- ☐ 損傷している(被服がはがれている)ものを使用しない。
- ☐ 壁などに固定する際は、専用のケーブルクリップ等を使う。

【過多の電流が流れる】

たこ足配線(容量超過)など電化製品の使用方法を間違えると火災の原因になります。

- ☐ 使用前に取扱説明書をよく読み、それに従って使用する。

STOP電気火災

検索